

特集
子どもたちの質問に
答えます



鳥取市歴史博物館「やまびこ館」

Q.やまびこ館の5種類のキャラクターの中で、1番人気のキャラクターは何ですか？



A.佐治小学校の1年生～5年生の皆さんに聞いたところ、1位はドン・ぐりすけでした！学年によってばらつきがありましたが、総合するとこのような結果になりました。やまびこ館のキャラクターは、いずれも樗谿に生息する生き物や植物などに由来しており、博物館に親しみを持っていただく重要な役割があります。

鳥取市因幡万葉歴史館

Q.これは何ですか？

A.鳥取市国府町の岡益地区にある、高さ4m以上もある大きな石造物です。地元では「いしんどう」と呼んでいます。どのような目的でつくられたのか、わからないため、「なぞの石堂」ともよばれています。お寺の塔であるとする説、廟堂（亡くなった先祖をまつる建物）とする説などが言われていますが、はっきりとしません。この石造物をつくるのに、中国や朝鮮半島から来た人が関わっているのではないかと考えられています。



岡益の石堂 原寸大復元模型（常設展示室）

仁風閣・宝扇庵

Q.仁風閣の宝隆院庭園はとてもきれいなところですが、どんな庭ですか？

A.この庭園は江戸時代に宝隆院という名前のお姫様のために造られたものです。池の真ん中にある大きな島は「亀」、隣にある小さな島が「鶴」で、一緒に滝に向かって泳いでいます。



秋の仁風閣庭園

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

Q.これは何ですか？

A.青谷上寺地遺跡で出土した弥生時代中期（今から約2000年前）の木製の『盾』です。盾は戦いのときに身を守るためのものですが、これは厚さが7mmほどで、とても薄いです。さらに赤い色が塗ってあり、模様もあることから、実際に戦いで使ったものではなく戦いに勝つためのお祈りや模擬戦（実際には戦わず人に見せるためのもの）で使われたものの可能性も考えられています。模様の意味はわかりませんがとても特徴があるため、青谷上寺地遺跡を代表する出土品のひとつと言えます。



盾（常設展示室）



鳥取市あおや郷土館

Q.ロビーに吊り下げられている鳥の模型は、何の鳥ですか？

A.これは、国指定の天然記念物で、絶滅危惧種にも指定されている「コウノトリ」の実物大手作り模型です。両翼の長さは2.2mもあります。おなかから下にのびる紐の先には、実物大のコウノトリの卵の模型がついていて、下に引っ張ると、パタパタと翼が上下に動きます。

近年、鳥取市気高町日光に人工巣塔が設置され、そこにコウノトリのペアが営巣し、このペアから4年連続ヒナが誕生して巣立ちました。日光池は、夏は水田、冬は池となって、コウノトリをはじめ多くの水鳥が棲みやすい環境です。



鳥取市あおや和紙工房

Q.「いい和紙」というのはどういう和紙ですか？

A.使う人の、使う目的・用途に合った原料・素材から、紙の厚みなどを考えてそれに合った紙質のものを漉き、さらに値段的に納得していただける「和紙」がその方にとって「いい和紙」となるでしょう。



紙漉きの実習もできるよ！

城下町とつとり交流館 高砂屋

Q.高砂屋の建物はいつの時代の建物ですか？

A.建物は明治25年に建てられた店舗棟と、大正時代に増設された住居棟。店舗棟は約130年前の建物です。

昭和18年の鳥取大震災や昭和27年の鳥取大火、二度にわたる大災害が鳥取を襲いましたが、幸いにも高砂屋の建物は大地震に耐え、火災を逃れました。鳥取の中心市街地の多くの古い建造物が失われましたが、高砂屋は明治時代の姿を留める希少な建物となっています。



高砂屋外観